六部塚

中仙町鐘見内字野中

野中と四ツ屋の境に高さ四メートルの土盛の塚があり、俗称六部塚と呼ばれ上には小祀や石碑が立っている。西国六六霊所をめぐった尼僧が埋められたところという伝説があり、江戸末期この塚から一個の伏せ鉦が出土している。これには「寛文一三癸丑天林鐘吉辰刻和野川口阿弥陀堂什物体西」とタガネ彫りされている。